

右京区社会福祉協議会
右京区ボランティアセンター 広報誌

ボックス

ウェルBOX-右京

発行 社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会
京都市右京区ボランティアセンター
京都市右京区太秦森ヶ前町22-3 TEL075-865-8567/FAX075-865-8569
発行人 原 健 編集人 玉置すみ糸
URL <http://www.ukyoku-syakyo.net> E-mail info@ukyoku-syakyo.ne.jp

第23号

平成25年11月

右京区を**元気**にしたい！

★ 第3期右京区地域福祉活動計画・学区社協重点活動プラン

★ 災害弱者を見逃さない

右京区
ボランティアセンター



赤い羽根
共同募金

あたたかいご協力を
お願い申し上げます

10月1日～12月31日

★ 賛助会員募集への御協力ありがとうございました。

平成24年度事業・決算報告／平成25年度重点課題

★ 京都市うずまさ学園
太秦障害者デイサービスセンター

みんなで力をあわせて

市民・学生らがボランティア参加

吹き出る汗、暑さとの戦い

水害被災地の泥出し、清掃、家財移動

災害お見舞い申し上げます

9月15日から16日にかけて台風18号の接近に伴う大雨により、京都市や福知山市等に甚大な被害をもたらしました。右京区におきましても、浸水被害等が発生いたしました。浸水被害等に遭われた皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

右京区社会福祉協議会 会長 原 健
役員一同

右京区など豪雨被害をもたらした台風18号

京都市災害ボランティアセンターブランチ

台風18号は、右京区内にも大きな被害をもたらしました。

それぞれの被災地域においては、自治組織を中心に各種団体が状況把握に努められ、地域の互助の力を発揮されました。

また、地元の学校や事業所の方々が駆け付けられ、黙々と動かれる姿に日頃から積み重ねられた地域の絆の大きさに改めて右京の力を感しました。

しかし、自力での復旧が難しい高齢者からは「家具が水に浸かってしまって一人では動かせない」とボランティアを求める声が区ボラセンに寄せられました。

災害時、復旧などでボランティアの支援が、

必要な現場とボランティアをつなぐ役割が災害ボランティアセンターです。

本会では、京都市災害ボランティアセンターの右京ブランチ(支所)として、被害にあわれた地域のボランティアニーズをお聞きし、ボランティア派遣などの調整を行いました。

「お手伝いできます」と申し出ていただいたボランティアに、家屋の泥出しや家具移動、清掃などに携わっていただきました。ボランティアが対応させていただいたお宅からは「元の暮らしに戻れるのかと一時は不安で一杯でしたが、みなさんの温かい心に感謝しています」との声も届きました。

復旧に「尽力」支援いただきました皆様ありがとうございました。

右京区総合防災訓練

区災害ボラセン設置・運営訓練で動きを確認

災害時の支援ではボランティアが大きな力を発揮します。平成25年10月20日、嵯峨野学区で右京区総合防災訓練がおこなわれました。この訓練では、区災害対策本部や地域と連携を取りながら『区災害ボランティアセンター設置・運営訓練』を昨年に引き続きおこない、被災者や避難所のニーズ(困りごと)の把握、ボランティアの受入れ及びコーディネート等の動きを再確認しました。

「右京区災害ボランティアセンター」って？

～ボランティアの力で右京区に助け合いの輪を～

災害時のボランティア活動は、平成7年の阪神・淡路大震災を契機に全国に広がり、現在では被災者の生活の再建を図るうえで不可欠なものと認識されています。このボランティア活動が円滑に行われるため、市内の総合調整を行う常設の「京都市災害ボランティアセンター」と、大規模災害時に区ごとに設置される「区災害ボランティアセンター」が、相互に連携を図りながら被災者の支援をすすめます。

第3期右京区地域福祉活動計画

2013(平成25)年度～2017(平成29)年度



「誰もが『ひとりの人間』として尊重され、安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指して、今後5年間の右京区における地域福祉活動の方向性を示した「右京区地域福祉活動計画」を策定しました。右京区社協ではこの計画に沿って地域福祉活動をすすめていきます。

計画をすすめていくためのキーワード

- 1 住民みんなが参加し関わることができる地域福祉活動の場を広げる。
- 2 活動を通して見える課題に対し、主体的に取り組むことができる地域の福祉力をつける
- 3 地域福祉活動を支援・推進するため、多様な主体がつながり協働し活動できる場づくり

右京区社会福祉大会

8月30日(金)京都国際ホテルで開催

151名・4団体に表彰授与

第1部式典では、長年にわたり右京区の地域福祉に貢献いただいた方々の功績を称える「右京区社協会長表彰」として、学区社会福祉協議会功労者の19名を含む151名4団体に原健会長より表彰状が授与されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。



右京福祉のまちづくり学校

お年寄りの『心の命』
対話で元気に！



第2部に開かれた「右京福祉のまちづくり学校」では、「お年寄りの『心の命』対話で元気に」をテーマに、一人暮らしのお年寄りのお話し相手を在宅で行う独居高齢者在宅リスナーボランティアグループ「りすの会」代表・内科医師の大矢治世先生による講演会が行われました。社協、関係機関、行政関係者のあわせて約220名の方が大矢先生のお話に熱心に耳を傾けられ、独居高齢者の在宅介護の様子などを交えた体験より「自分が必要とされていると実感できる話し相手の存在が大事」との呼び掛けに対して、参加者は地域で寄り添い見守っていくことの大切さに改めて共感しました。

※今回、ご講演いただいた大矢先生には、この秋に開催するボランティア講座でも講師としてご指導いただきます。詳細は7頁をご覧ください。

みんなの力が右京区を

元気にする ◆賛助会員制度◆

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。

賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的に支援(賛助会費)いただく“地域福祉の応援団”です。

平成24年度賛助会員募集
ご協力いただきありがとうございました。



寝具クリーニングサービス事業



平成24年度
賛助会費募集実績一覧

学区名	世帯数	賛助会費 (円)
太 秦	8,202	2,318,400
南太秦	2,335	530,000
常磐野	6,107	850,300
安 井	3,137	935,800
嵯峨野	6,117	1,129,350
山ノ内	4,962	719,300
西院第一	4,695	535,580
西院第二	7,399	825,800
梅 津	4,756	643,900
北梅津	3,859	864,000
嵯 峨	4,920	1,476,500
広 沢	3,141	732,500
嵐 山	3,812	451,000
水 尾	27	17,000
宕 陰	58	70,000
花 園	2,739	678,900
御 室	4,113	953,400
宇多野	3,725	579,500
高 雄	864	499,500
西京極	8,207	942,000
葛 野	5,581	470,000
京 北	2,052	455,000
合 計	90,808	16,677,730



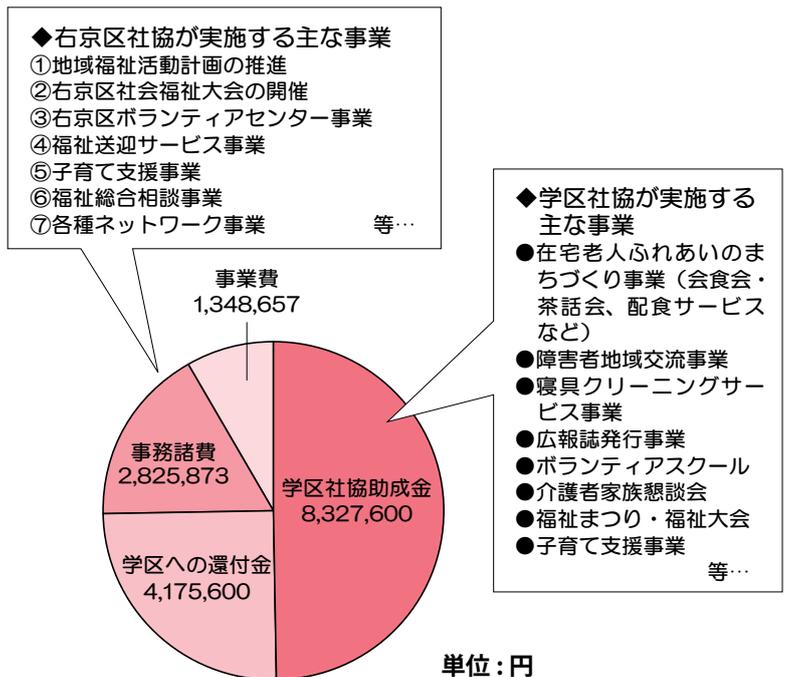
福祉まつり



配食サービス事業



平成24年度
賛助会費の使途内訳



平成25年度も賛助会員募集を行います。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成24年度
右京区社協決算報告(概要)

【資金収支計算書】

(自) 平成24年4月1日

(至) 平成25年3月31日

一般会計

単位:円

経常活動による収支
収入

勘定科目	予算額	決算額	差異
会費収入	18,709,000	18,048,730	660,270
寄附金収入	3,900,000	4,170,321	-270,321
経常経費補助金収入	32,715,000	32,589,540	125,460
受託金収入	23,392,000	23,247,200	144,800
事業収入	3,350,000	3,474,820	-124,820
共同募金配分金収入	10,058,000	10,057,562	438
その他の事業収入	165,000	164,687	313
雑収入	400,000	580,868	-180,868
受取利息配当金収入	220,000	221,430	-1,430
経理区分間繰入金収入	26,009,000	25,467,514	541,486
経常収入計①	118,918,000	118,022,672	895,328

支出

人件費支出	49,429,000	48,706,247	722,753
事務費支出	3,712,000	3,535,060	176,940
事業費支出	12,754,000	12,488,118	265,882
助成金支出	29,614,000	28,348,453	1,265,547
負担金支出	110,000	102,700	7,300
経理区分間繰入金支出	13,105,000	12,564,366	540,634
経常支出計②	108,724,000	105,744,944	2,979,056
経常活動資金収支差額 ③=①-②	10,194,000	12,277,728	-2,083,728

平成24年度は、当初の計画で立てた4つの重点課題(①住民主体の小地域福祉活動の推進、②区社協運営施設の円滑な運営、③区社協法人化20周年に伴う事業の実施、④総合相談機能の充実)の達成に向け役員一丸となって取組を進めてきました。

なお、平成24年度の資金収支計算書は下記のとおりです。ご参照ください。

施設整備等による収支
収入

施設整備等寄附金収入	0	0	0
施設整備等収入計④	0	0	0

支出

固定資産取得支出	711,000	686,394	24,606
施設整備等支出計⑤	711,000	686,394	24,606
施設整備等資金収支差額 ⑥=④-⑤	-711,000	-686,394	-24,606

財務活動による収支
収入

積立預金積立収入	3,212,000	3,212,000	0
財務収入計⑦	3,212,000	3,212,000	0

支出

積立預金積立支出	13,943,000	13,795,100	147,900
財務支出計⑧	13,943,000	13,795,100	147,900
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-10,731,000	-10,583,100	-147,900
予備費⑩	0		
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	-1,248,000	1,008,234	-2,256,234
前期末支払資金残高⑫	0	22,132,511	-22,132,511
当期末支払資金残高⑬+⑫	-1,248,000	23,140,745	-24,388,745

地域の福祉活動に使われています。

助け合い事業のサポーター

赤い羽根共同募金

皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。



赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

共同募金は地域の福祉活動の大事な財源となっています。皆様からの貴重な募金は、京都府共同募金会に集約され、高齢者、障害児者、子育て支援、住民全体の福祉活動に助成されます。内訳は、生活支援事業や社会参加支援事業、ボランティア活動や広報などの総合福祉事業などです。本会も平成24年度は、10,057,562円の配分を受けて、各々の活動に助成しました。

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が展開されています。引き続き、共同募金へのご理解・ご協力の程、よろしくご協力致します。



乳幼児と保護者を対象とした子育てサロン・サークルの活動にも使われています。

寄付金コーナー

右京区の地域福祉発展のため貴重なご厚志を賜り誠にありがとうございました。大切にさせていただきます。

(平成24年11月~25年9月)

関 五郎 様 株式会社 西村信天堂 様
吹田 良忠 様 京建労右京支部 支部長 井上 豊 様
蒲田 勝様 様 京建労他京北地域の皆様方
匿名希望

右京区の地域福祉発展のためご協力の程よろしくご協力致します。

誰もが「ひとりの人間」として尊重され、 安心して、暮らせるまちづくり

平成25年度 右京区社協の重点課題

1. 「第3期右京区地域福祉活動計画」を軸にした事業の推進
 - ①訪問(アウトリーチ)による寄り添い型の生活支援の推進
 - ②「地域の絆づくり事業」の推進
 - ③生活支援機能(セーフティネット)の強化
2. 災害対策のための環境整備事業
3. 指定管理施設の運営効率化(うずまさ学園)

右京区社協の主な事業

- ①法人運営
 - ・右京区地域福祉活動計画の推進
 - ・組織基盤の充実
 - ・賛助会員募集活動の推進
 - ・広報活動の充実
- ②学区社会福祉協議会活動支援
 - ・学区社協重点活動プランの推進
 - ・「地域における見守り活動促進事業」の推進
 - ・地域の絆づくり事業(見守り活動、居場所づくり、相談事業)
- ③右京区ボランティアセンターの運営
 - ・人材育成、活動参画促進事業
 - ・ボランティア相談、コーディネート事業
 - ・災害対策のための環境整備
- ④総合相談事業
 - ・日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の実施
 - ・生活福祉資金貸付事業の実施
- ⑤各種関係機関・団体、区行政等とのネットワーク活動
- ⑥施設運営
 - ・京都市うずまさ学園、京都市太秦障害者デイサービスセンターの運営

今後2カ年かけて取組みすすめる 学区社協重点活動プラン

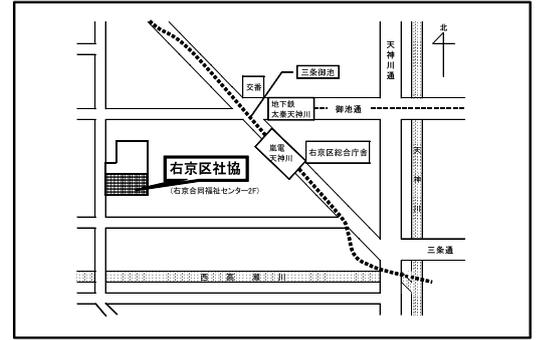
2013(平成25)年度～2014(平成26)年度

「誰もが『ひとりの人間』として尊重され、安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指して、今後5年間の右京区における地域福祉活動の方向性を示した「右京区地域福祉活動計画」を策定しました。この計画では、今後2年間で必ず実施したい、学区社協重点活動プランを策定しました。目標の達成に向けて、区・学区社協では計画的に地域福祉活動をすすめていきます。

太 秦	見守りと防災の取組みをより深めると共に居場所づくりに力を入れていきます。
南太秦	地域住民が明るく暮らせる福祉活動に各種団体が密になり連携・支援・活動に専念します。(高齢者世帯および障害者の福祉台帳を整備します。
常磐野	住み慣れた場所での地域交流と閉じこもり防止のため高齢者の「居場所づくり」の設置に取組みます。
安 井	高齢者見守りを兼ねた居場所づくり「ふれあいサロン」開設をめざし準備をすすめます。
嵯峨野	学区防災マップを最新版への更新と、新たに災害時要援護者リスト・災害時安否確認マニュアルの策定を目指します。
山ノ内	福祉事業を通じたボランティアスピリッツの芽生えと福祉マンパワーの育成に努め、福祉台帳の整備とともに実態に即した高齢者福祉事業をすすめます。
西院第一	「ぬくもり委員会」の子ども達との交流を深め、小学校の福祉学習も取り入れたふれあい事業を実施します。
西院第二	支援の必要な人の把握をすすめるため町内の福祉委員による見守り活動を活発にします。
梅 津	災害に備えて要配慮者の把握に取組みます。その実現に向けてまずは身近な地域での居場所づくりに取組みます。
北梅津	学区内災害ボランティアセンターの設置運営訓練と避難所運営訓練を実施し、災害ボランティアの人材育成に努めます。
嵯 峨	社協事業への男性の参加を促し、同時に新たな活動の担い手の「仲間づくり」に取組みます。
広 沢	高齢者のニーズに対応した事業を拡充し、その担い手になる地域の方のボランティア活動への参加を促進します。
嵐 山	すこやかサロン事業について、広報を工夫する等多くの方が参加できるように努めます。
水 尾	高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせる見守り活動を展開します。
宕 陰	地域が一体となった取組をすすめ、地域全体でまちづくりをすすめる気運を高めていきます。
花 園	高齢者の実態を把握し、安心できるまちづくりに自治会・民協と連携を密にして取組みをすすめます。
御 室	日々の生活の中で地域をきめ細やかに見つめ、一にも二にも元氣を取り戻すことに向けて社協役員・福祉委員も勉強しながら住民の悩みに寄り添い頑張っていきます。
宇多野	人に優しく災害にも強い信頼で結ばれた福祉のまちづくりをすすめます。
高 雄	社協活動を応援してくれる人、支えてくれる人を増やし、様々な活動を通じた高齢者の見守り活動をすすめていきます。
西京極	「西京極福祉災害ボランティア」メンバーの意識の向上、知識の向上を図ります。
葛野	誰もが気軽に参加しやすい場の創設と、ひとり一人の手元まで届けるきめ細やかな声をかけで地域の孤立を防ぎます。
京北	更なる基盤整備を図り、円滑な事業運営と事業拡大の検討をおこないます。

右京区ボランティアセンター

ボランティア・市民活動を応援する情報を紹介。
是非、一緒に参加してみませんか。



ボラセンって？

ボランティアセンターでは、「ボランティアをしたい・してほしい・勉強したい」などのボランティア相談を受付けています。また、ボランティア活動に必要な保険の加入手続き、機材等の貸出などを行い活動を応援しています。お気軽に、ご相談・お問合わせください。

○ボランティア相談受付時間

月～金曜日 9時00分～17時00分
(夜間、土日祝はFAXで可)

○お問合せ先

右京区ボランティアセンター
右京区太秦森ヶ前町22-3

TEL865-8567 / FAX865-8569

○ホームページ <http://www.ukyoku-syakyo.net>



京北地域の中高生が参加 福祉施設で体験学習

京北地域では、今年も夏休みを利用して中高生を対象に3日間の社会福祉体験学習を実施しました。

体験に参加する12名の学生は、希望する保育所や高齢者施設に分かれて3日間の福祉体験をおこないます。

誰もが緊張する活動初日。保育所では子どもたちが、高齢者施設ではご利用者さんがほぐしてくれたと、体験を振り返る事後学習会で参加者らから聞くことができました。また、体験期間中は、戸惑ったことも沢山あったようですが、職員のアドバイスで乗り切り、最後まで頑張りぬいた充実感を味わったようでした。たった3日間の体験であったのに、参加した中高生の一人一人が、ひと回り遅くなくなったように感じました

ボランティア 入門講座

参加者
募集

右京区ボランティアセンターでは、今年も11月から2月にかけてボランティア講座を開催します。ボランティアに興味をお持ちの方または、これから始めてみようかと思っている方にぴったりの入門講座です。是非、参加してみませんか。参加費は無料、参加申込は上記ボラセンまでご連絡ください。

「コミュニケーションって何だろう？」

ボランティア活動を始めるうえでの、人との関わり(コミュニケーション)に必要な心得を学び、また実際にボランティア活動をされている方々からの体験談をお聞きます。講師の先生は内科医師で独居高齢者在宅対話ボランティアグループ「りすの会」代表、また地域医療、保健、福祉の分野で幅広く活躍中の大矢先生です。“聴き上手”“話し上手”について楽しく学びましょう！

【講師】大矢 治世 先生(内科医師・医学博士・「りすの会」代表)

【日時】1回目:11月21日(木)10:00～12:00

2回目:12月5日(木)10:00～12:00

【場所】右京合同福祉センター

【定員】30名(先着順)

【申込締切】11月15日(金)



要約筆記講座

《要約筆記とは…》

聞こえない、聞こえにくい方に、話の内容を文字にして書いて伝える方法です。

個人の時は紙に書いて、大勢の時はOHPなどを使って伝えます。

【日時】平成26年2月8日(土)13:30～16:00

【場所】コミュニティ嵯峨野(JR嵯峨嵐山駅横)

【定員】20名(先着順 ハガキまたはFAXにて受付)

【申込締切】平成26年1月31日(金)

昨年、ボランティア講座を修了した人たちで結成！

京北地域「対話ボランティア」が開始

一人暮らしの高齢者の方や、昼間に一人で過ごしておられる高齢者とお話することで元気になってもらいたいと、講座を修了した11名が中心となって活動をスタートしました。これからの活動にご期待ください。



右京区社会福祉協議会が運営する、うずまさ学園、太秦障害者デイサービスセンターは、開設後12年目を迎えています。「(障害があっても)普通の暮らしがしたい」そんな思いを胸に、日々の作業や活動に取り組んでいます。

うずまさ学園

利用者の皆さんは、3つの班に分かれて日々の作業に取り組んでいます。互いに応援や励ましあいながら、みんなでがんばっています。

下請班

電機部品の加工やネジ、線香、菓子等の箱詰めや袋詰めを行っています。京都らしさを感じるの、お菓子屋さんの仕事です。季節ごとに変化があり、紅葉・桜などの観光シーズンが繁忙期で、皆さんの気合が入ります。



パン班

洋菓子・食パンを製造しています。「区民ふれあいフェスティバル」や地域のイベント、各学区のサンデーモーニングにもご利用いただき、好評をいただいています。今は、冬の商品準備で慌ただしくも張り切っています。



生活介護班

下請作業やアルミ缶プレスなどの軽作業を行っています。アルミ缶プレスでは、たくさんのアルミ缶が必要なので、地域の方々にもご協力いただいています。



デイサービスセンター

3つのクラブ活動があり、利用者の方が入りたいクラブを選び、クラブメンバーで決めた目標に向かって日々取り組んでいます。

卓球バレークラブ

目標:『力を合わせて今年こそ2勝する!! ~勝ちたいんや!~』

公式戦に向けて一生懸命です。休日も汗を流すなど気合い十分です。前年度、勝利できなかった悔しさをバネに今年度は2勝を目指し、チーム一丸となって頑張っています。



創作クラブ

目標:『賞をとれるようにがんばる。~みんなで楽しい創作クラブ~』

5・6月と北山の植物園へ出かけました。綺麗な花をスケッチしたり、写真を撮ったり、思い思いの時間を楽しみました。今は、『とっておきの芸術祭』に出展するための作品づくりに没頭しています。



お茶会クラブ

目標:『練習を頑張って楽しく過ごす。~いつ楽しむの?...今でしょ!!!~』

お点前の練習だけでなく、買物・喫茶体験・他施設とのお茶会交流など、楽しいメニューが一杯です。ひとりひとりの目標に向かって、楽しく過ごしています。

